

## 5. 安全な河川利用に向けた取組

安全な河川利用に向けた取組については、引き続き協議会、河川管理者により詳細を協議して対応を決定する。

## 6. 都市・地域再生等利用区域の指定に関する取組

### ①都市・地域再生等利用区域の指定に向けた、公募や河川敷地の利用調整に関する会の取組等

現段階では未定ですが、「上尾市かわまちづくり協議会」により、前述の社会実験成果等をふまえて検討予定です。

天端拡幅による側帯天端部平場を想定しています。

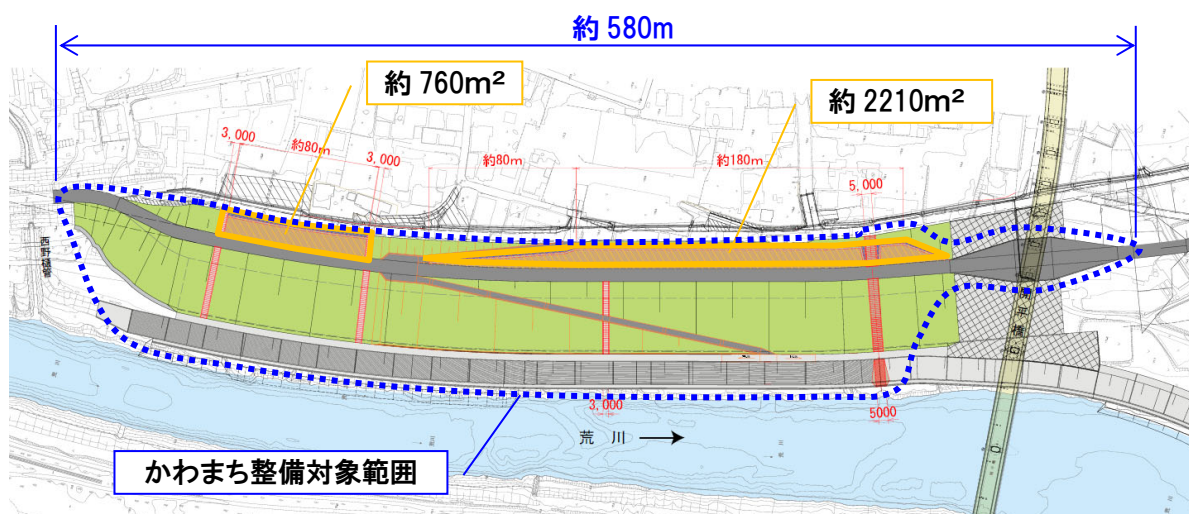


図 13 都市・地域再生等利用区域の指定に向けた想定区域

### ②都市・地域再生等利用区域の指定年月日

未定（築堤整備完了後）

## 7. 生物の生息・生育・繁殖の場の保全・創出に関する取組

生物の生息・生育・繁殖の場の保全・創出に関する取組については、引き続き協議会、河川管理者により詳細を協議して対応を決定する。

#### 4. 整備の実現方策

##### ・関連事業の整備計画

荒川平方地区では、上尾市平方地区堤防整備事業が実施中であり、堤防整備事業と当該事業との一体的な整備により、親水性を活かした魅力的な水辺等環境空間の創出を図ることができる。

##### ・役割分担

	上尾市（観光協会・商工会等含む）	国土交通省
ソフト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どろいんきょ・花火大会等の従来の開催事の継続的实施</li> <li>・地域防災活動や水辺の安全教育支援</li> <li>・地域イベント・集客イベントや屋外レクリエーション等のイベント開催支援</li> <li>・大学との連携による地域活性化方策</li> <li>・地域の情報発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市・地域再生等利用区域指定支援（事業運営上の必要性に応じて実施）</li> <li>・先進事例等の情報提供</li> </ul>
ハード	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 休息・休憩に供する施設 <ul style="list-style-type: none"> <li>・あずまや（サイクルステーション）</li> <li>・トイレ</li> <li>・ベンチ</li> </ul> </li> <li>・修景植栽・花壇（ツツジ・灌木等）</li> <li>● イベント等地域活性化に資する施設 <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント広場、駐車スペース</li> <li>・建屋（仮設店舗、イベント時詰所）</li> <li>・イベント倉庫</li> </ul> </li> <li>● 地域の情報発信に関する施設 <ul style="list-style-type: none"> <li>・看板</li> <li>・誘導表示</li> </ul> </li> <li>● 地域文化の伝承に関する施設 <ul style="list-style-type: none"> <li>・どろいんきょ・転がし場</li> <li>・説明モニュメント</li> </ul> </li> <li>● 防災に関する施設 <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災倉庫（避難シェルター兼用）等</li> </ul> </li> </ul> <p>上記施設に必要となるその他安全・ライフライン施設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・転落防止柵</li> <li>・上下水道</li> <li>・電源引込、照明</li> </ul>	<p>（堤防整備、低水護岸整備に伴う付帯施設整備）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・側帯</li> <li>・堤防部の坂路・階段</li> </ul>

##### ・整備工程

事業者	事業内容	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
上尾市	広場修景					
	休息・休憩施設					
	イベント関連施設					
	情報発信施設					
	地域文化伝承施設					
	防災関連施設					
国土交通省	堤防関連施設整備					

#### 5. 多自然川づくりに関する事項

堤防整備におけるブロック積み擁壁については周辺環境や当該箇所の景観、歴史性に配慮したブロックの採用を検討し、堤防川表法面においては覆土・張芝を行う。

## 6. その他特筆すべき事項

●どろいんきょ（上尾市指定無形民俗文化財（S57 指定）、「平方祇園祭のどろいんきょ行事」として埼玉県指定無形民俗文化財（H23 指定））

### （１）概要

平方祇園祭のどろいんきょ行事は、7月の海の日の前の日曜日に、平方上宿に鎮座する八枝神社を中心とする夏祭りである。この祭りでは、神輿のほか、いんきょ神輿と呼ばれる装飾のない白木の神輿が町内を渡御する。上宿の各班で出す神酒所を廻る形で神輿の渡御は行われる。この神酒所の中の5か所で「どろいんきょ」が行われる。神酒所となる家の庭には、あらかじめ水を撒いておき、この土の上でいんきょ神輿を転がすことを「どろいんきょ」と呼んでいる。

### （２）歴史的背景

どろいんきょは、上尾市大字平方の上宿地区に鎮座する八枝神社の祇園祭の中で行われる行事である。八枝神社は、江戸時代には牛頭天王社と呼ばれていたが、明治初年に改称し現在に至っている。明治初年に著された『武蔵国郡村誌』では、八枝神社の祭日を7月14日としている。

明治時代、八枝神社の祇園祭は、現在の大字平方の範囲にあたる、南・下宿・上宿・新田の四地区合同で行われてきた。神輿がこの四地区を巡回し、その中でどろいんきょが行われてきた。「八枝神社日記」の明治42年6月24日の項には、「隠居輿」の修繕に関する記述があり、このころには既にどろいんきょが行われていたことが推察される。

祇園祭で、どろいんきょを含む神輿渡御を行うには、四地区の合意が必要であった。合意が得られた年のみ神輿の渡御ができたのである。大正一二年にどろいんきょを含む神輿渡御を実施したが、以降、これを最後に四地区合同での神輿渡御は行われなくなった。その後、祇園祭は四地区それぞれで神輿渡御が行われ、どろいんきょも各地区で小規模に行われる程度であった。

こうした中、上宿地区では、昭和四八年に祇園祭の中でどろいんきょを本格的に復活した。どろいんきょは、昭和五七年には上尾市指定無形民俗文化財、平成二三年には「平方祇園祭のどろいんきょ行事」として埼玉県指定無形民俗文化財に指定され、現在に至っている。

### （３）川入

どろいんきょの途中に、荒川への川入りがある。本来の祭りの行事ではないが、復活以降の恒例行事となっている。五班で行われる二回目のどろいんきょの最中、隠居神輿を逆さまにして担ぎ、神酒所を出て、川岸に向かう。隠居神輿を荒川に投げ入れ、若い衆もそれにしがたって川に飛び込む。少し下流に流されてから岸に上がり、また逆さまに隠居神輿を担いで神酒所に戻ると、どろいんきょが再開される。神輿と隠居神輿は、進んだ道を戻らないことが基本であるが、隠居神輿を逆さまに担ぐことで、本来の巡行ではないことになり、一度進んだ道に戻るができる。



図 17 荒川に入る神輿  
「平方上宿の祇園祭 どろいんきょ」



資料：「あげお文化遺産ガイド」

<https://ageobunkaisan.jp/doroin/kyo/contents/doro/doro.html>

図 18 神輿の渡御とどろいんきょ・川入箇所